



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

Press Release

イベント通知



2023年9月27日

日本の近代化と感染症対策の原点、 適塾の建物を後世に守り伝えたい！

— 国指定の重要文化財「適塾」をデジタル技術で記録・保存 —
10/2（月）クラウドファンディング開始！

❖ 背景

大阪大学適塾記念センターでは、適塾を後世に守り継ぐプロジェクトとして、メンテナンス・防災対策の強化と、適塾を再現可能なレベルで調査・計測することを目標として10月2日からクラウドファンディングを開始します。

2019年（令和元年）、フランスのノートルダム大聖堂と、沖縄の首里城が、相次ぎ火災により焼失しました。火災以外にも、南海トラフ地震、上町断層帯などの巨大地震、近年の異常気象による集中豪雨などの災害は避けられず、建物の各所に見られる経年劣化を止めることはできません。多くのリスクが懸念される中、市民共有の財産である適塾の建物を復元可能なレベルで調査・計測し、万が一の事態に備えたいと考えています。

本プロジェクトの最終目標は、新たな形で適塾の魅力を発信し、適塾の系譜を次の時代につなぐこと、歴史を感じながら「集い、学ぶ場」として「活用」し続けてもらうことです。適塾の本来の価値を継承し続ける取組について、多くの皆様に知っていただきたく、報道各社におかれましては、広く周知のご協力をいただけますと幸いです。また、今後の実測調査などの取組も、適宜取材いただくと幸いです。

❖ プロジェクト概要

今回のプロジェクトでは、適塾を復元可能なレベルで調査・計測します。そのため、まず自己資金により宮大工による実測調査を実施します。日本の伝統建築は、宮大工の職人技に支えられています。日本建築の構造を知り尽くす職人の手による実測調査によって、調査図を作成し記録します。実測調査には、建築を学ぶ本学の学生も参加し、学生たちが職人の技を体感する貴重な実習の場となります。

なお、復元にあたっては実測調査の図面だけでは十分とはいえないことから、デジ

タル技術を用いて建物の3Dデータを記録したいと考えています。具体的には、3D写真記録（フォトグラメトリ：写真測定法）と点群データ調査が必要となります。フォトグラメトリは、適塾建物の内観・外観を専用機械で撮影し、高精細な3D写真として記録するものです。点群データとは、「位置情報(X, Y, Z)と色情報(R, G, B)を持った点の集合データ」を指します。3Dスキャナーでスキャンすることで、建物の形状を大量の点の集合体データとして表現し、記録します。いずれも実測調査を補完するもので、クラウドファンディングを通じてこれらの実施費用を支援いただきたいと考えております。



Press Release

また、今回のプロジェクトのために、**大阪大学工学部出身の噺家・桂紋四郎さん**に「福澤諭吉、適塾の青春」と題した落語を創作いただきました。安政2年（1855年）に適塾に入塾した若き日の福澤諭吉の目線で、当時のエピソードが軽妙洒脱に紹介されていますので、多くの方々に視聴いただき、適塾に親しみを感じていただくことによって、みんなで適塾を守り伝えていくという機運を醸成したいと考えています。動画はクラウドファンディング開始後、プロジェクトページでご覧いただけます。



❖ クラウドファンディングについて

■実施期間 2023年（令和5年）10月2日（月）～11月30日（木）

■目標額

第1目標：300万円

<資金用途>

- ・3D写真記録（フォトグラメトリ）
- ・点群データ調査（3Dスキャン）

360万円かかる見込みとなりますので、みなさまのご寄附を一部金として大事に充てさせていただきます。

第2目標：800万円

<資金用途>

- ・3D写真記録（フォトグラメトリ）
- ・点群データ調査（3Dスキャン）
- ・ウェブサイトの充実化
- ・適塾PR動画の制作
- ・諸経費、手数料等

残りの3D写真記録/点群データ調査にかかる費用と、HPの充実化やPR動画制作のための費用の一部金として大事に充てさせていただきます。

■スケジュール

- ・2023年11月～2024年3月末：①宮大工による実測調査
- ・2024年2月～2024年6月末：②適塾建物の3Dスキャン、③点群データ調査
- ・2024年6月～2024年12月末：ウェブサイトの充実化、PR動画制作

■詳細

<https://readyfor.jp/projects/tekijuku3d>

❖ 適塾について

適塾は幕末の蘭学者・緒方洪庵(1810-63)が1838年（天保9年）、大坂に開いた蘭学塾で、福澤諭吉、橋本左内、大村益次郎といった日本の近代化に貢献する人物を数多く輩出したことで知られます。特にコロナ禍にあって、洪庵の種痘事業やコレラ対策、長与専斎が整備した衛生行政は、日本の感染症対策の原点ともいえるべき役割を果たしたことに注目が集まりました。

このような歴史的価値を有する適塾は、現存唯一の蘭学塾遺構であり、大阪市街で最古級の町家建築として、国の重要文化財に指定されています。適塾建物は、開塾前年に起こった大塩平八郎の乱、そして第二次世界大戦末期の1945年（昭和20年）の大阪大空襲と、二度の大きな戦災を奇跡的にくぐり抜け、今なお往時の姿をとどめています。



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

国立大学法人 大阪大学

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 1-1

TEL: 06-6877-5111 (代)

www.osaka-u.ac.jp

Press Release

❖ 適塾と大阪大学

適塾建物は1942年（昭和17年）に緒方家から国に寄附されて以来、大阪大学が管理・保全に携わってきました。その背景に、明治初期に設立され洪庵の子息や適塾関係者らが中核を担った大阪仮病院から大阪医学校、大阪医科大学を経て、1931年（昭和6年）に設立された本学（当時は大阪帝国大学）に至る大阪の近代医学教育の系譜がありました。また、洪庵の種痘事業の中心となった除痘館は後に大阪医学校に合併し附属種痘館となりました。

大阪大学は、1952年（昭和27年）に設立された適塾記念会と協同して緒方洪庵と適塾の事績を調査・研究し、その歴史的重要性を社会に発信してまいりました。1976～80年（昭和51～55年）には適塾建物の解体修復工事、2013～14年（平成25～26年）には耐震改修工事を実施し、適切な保全と活用にも努めています。

